

日本大学薬学部 医薬品情報学

薬剤師と医薬品情報

2021年12月21日(火)
日本調剤株式会社 FINDAT事業部
上田 彩

<目標>

医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を収集し、その情報を評価し、適切に情報提供を行うことについて理解する。

第1回～14回

EBM(Evidence Based Medicine)の実践の基礎となる薬剤疫学や臨床研究のデザインと臨床研究で得られた結果を読み解き、患者情報を踏まえ、医薬品情報を適切に活用できるスキルを身につける。

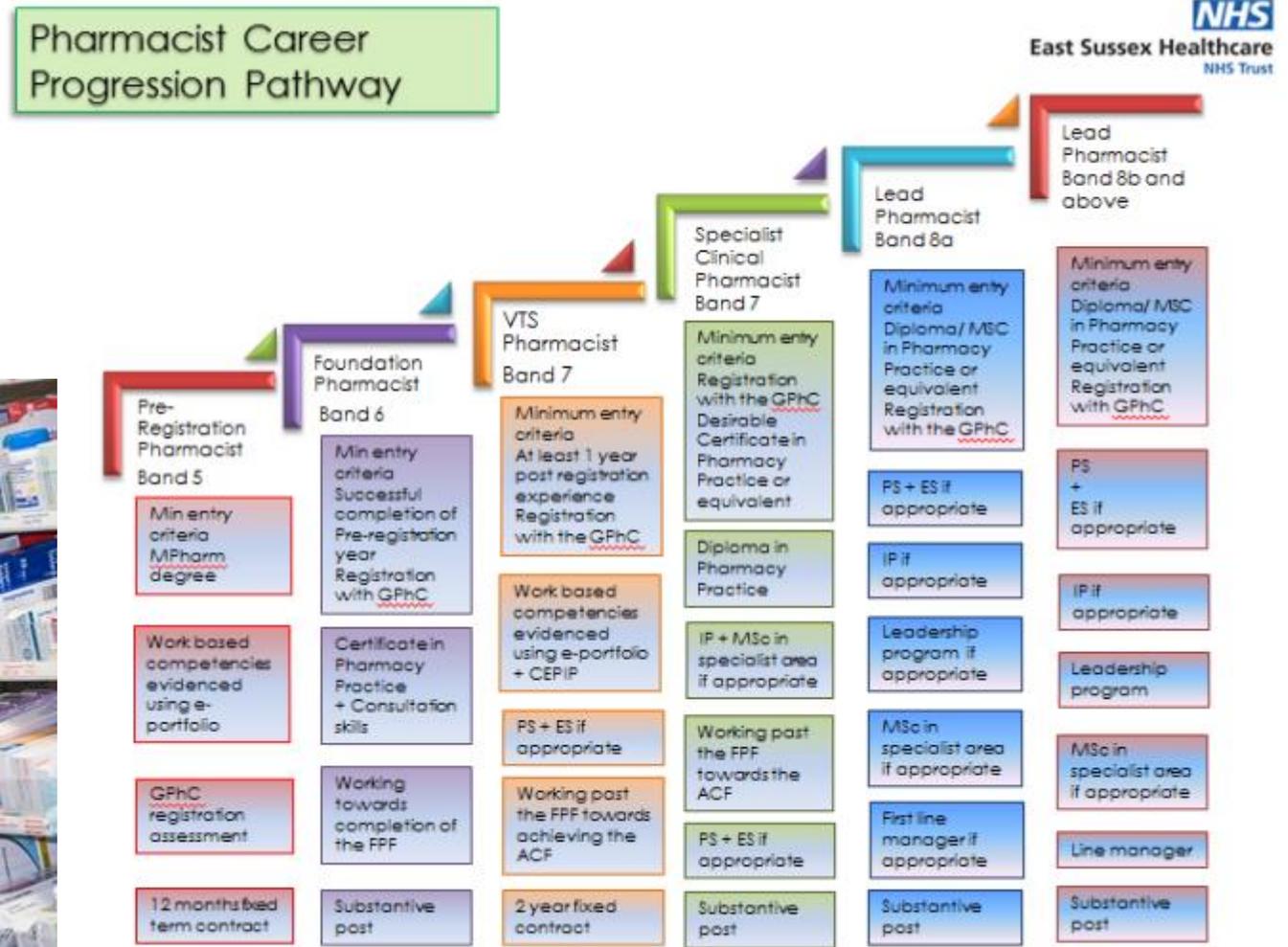
第15回

「薬剤師と医薬品情報」 イギリスにおける薬剤師の情報活動、国内の病院と薬局のDI業務、医薬品情報源の活用方法に関する内容を紹介する。欧米など先進国で普及しているフォーミュラーの内容と医療の質の向上に関し理解を深める
日本調剤株式会社FINDAT事業部 上田彩

Aim

- **英国における薬剤師の役割について知る**
- **医薬品情報源を知る**
- **フォーミュラリーなど医薬品の採用と使用のために必要な情報の評価について知る**

- 実務実習Pre-registration pharmacistからスタート
- 実務経験・卒後研修でステップアップ



<https://www.esht.nhs.uk/wp-content/uploads/2017/05/Pharmacy-Education-and-Training-Strategy.pdf>

フォーミュラーとは？

- 一 疾患の診断、予防、治療や健康増進に対して、医師を始めとする薬剤師・他の医療従事者による臨床的な判断を表すために必要な、継続的にアップデートされる薬のリストと関連情報

Am J Health-Syst Pharm 2008;65:1272-83



医療機関における患者に対して最も有効・安全で経済的な
医薬品の使用における方針